



# 山口県

atelier Kasho 一級建築士事務所  
加生 祥啓

【作品名】  
宇部の切妻



写真撮影/KYOKO OMORI

設計	atelier Kasho 一級建築士事務所
施工	山下建設株式会社
竣工日	2020年5月30日

## 建物概要

建設地	山口県宇部市	延床面積	139.12㎡
敷地面積	633.35㎡	構造・規模	木造平屋建

## 設備面の特記

厨房機器	ガスコンロ
給湯機器	エコジョーズ
冷暖房機器	エアコン・薪ストーブ

## 平面図

- |         |         |        |           |
|---------|---------|--------|-----------|
| 1.ポーチ   | 6.食品庫   | 11.洗面所 | 16.WIC    |
| 2.ガレージ  | 7.ダイニング | 12.トイレ | 17.駐車場    |
| 3.玄関ホール | 8.リビング  | 13.脱衣所 | 18.バックヤード |
| 4.下足収納  | 9.将来個室  | 14.浴室  | 19.北庭     |
| 5.厨房    | 10.廊下   | 15.寝室  | 20.南庭     |



①ガレージから長手方向を見る。



②リビングからガレージ方向を見る。



③敷地俯瞰。切妻屋根の群れ。



④ポーチの回転扉と開放された3連引戸。

## 設計コンセプト

敷地は周防灘を東に臨む段状宅地の中段に位置し、瀬戸内の温暖で安定した気候を享受する植生豊かな場所だった。ここで多世代の家族が程良い距離感で群れて住むことをめざし、まず意識したのは広大な家族の庭を守る壁を作ることだった。とはいえ周辺に対し閉鎖的にしたくない。そこで格子回転扉を門扉として、ポーチを介して庭の空気が表に感じられる造りとした。

またご実家、ガレージ、離れ、和蘭小屋、すべての既存建物が切妻屋根であったため、本計画も敷地のアイデンティティとしての切妻屋根を採用することで、形態上も家族が群れて住むことを意識した。

平面計画では北側に水廻りを配置し、I.ガレージ、II.厨房・玄関ホール、

III.トイレ・浴室・寝室の3つの箱に1枚の屋根が架かる構成としている。それぞれの箱のあいだはポーチ、リビングで、風の抜けるポーチは休憩場所、雨の日の作業場所、植物の避難場所など、施主の多趣味を許容するフレキシブルな空間となる。また、リビングの外部建具を解放すると間口4mの開口となり、空気、視界の通り道となって広大な庭越しにご実家のリビングとつながる。

建築中にご夫婦に第一子が生まれ、リビングの一部は将来個室にもできるようにしたが、家族の敷地を一団と捉え、庭を介して各棟が離れとなって補完することで、将来の家族構成の変化にも対応した、3世代をつないで生活する家族の群れが創造できた。

## 審査委員講評

広々とした庭を介して親世帯が暮らす住居と適度な距離感を取りながら、切妻の風景を踏襲した外観が印象的。大屋根に覆われながらも、半外部的なポーチによって豊かな生活動線を生み出しています。庭と並行してリニアに展開する内部空間は軸組構造の仕上げと合わせて心地よいリズム感が特徴的な気持ちのよい住まいです。